

出向く営農レポート

～サツマイモの防除について～

訪問日：6月30日



南部営農センター 東郷事務所
山口 菱

今回は、東郷産直友の会会員の田村彰英さんの圃場に訪問しました。

田村さんは農業に興味があり、「とうごう農学校」に参加したことをきっかけに本格的に農業をはじめました。今では、年間を通して様々な露地野菜を栽培し、豊明・東郷グリーンセンターなどに出荷しています。



圃場にはサツマイモと空心菜が栽培されており、サツマイモにハスモンヨトウの食害を確認しました。ハスモンヨトウの若齢幼虫は、葉の表皮だけを残して葉裏を食害するため、被害にあった葉は白く透けたようになります。老齢幼虫は葉に不規則な穴をあけて食害するほか、多発時は葉脈だけ残して食い尽くしてしまいます。

若齢幼虫

体長1cm程度の淡い黒色をした孵化直後の幼虫

老齢幼虫

体長4cm程度の背中に一对の黒い点がある幼虫

田村さんの圃場は老齢幼虫が多く、一部の株は葉のほとんどが食害されていました。そこで即効性と残効性を持ち、老齢幼虫に高い効果を発揮するブロフレアSCの散布を提案しました。

防除前



老齢幼虫の被害により葉が穴だらけ

防除後



防除後、新しい葉が育ち綺麗な状態に回復

ハスモンヨトウは数百個の卵塊を葉裏に産卵します。卵を見つけた時は孵化する前にすり潰すか、圃場外に持ち出して処分してください。特にハスモンヨトウの被害が目立つ9月～10月は、よく観察し、初期防除に努めましょう。

ハスモンヨトウ対策

ブロフレアSC

- 希釈倍数：2,000～4,000倍
- 使用量：100～300L/10a
- 使用時期：収穫日前まで
- 使用回数：3回以内

